



● 大型哺乳類「リノティタン」を組み立てました

11月3日、大型哺乳類「リノティタン」の公開組み立てを行いました（写真1）。リノティタンは、恐竜絶滅後にいち早く大型化した哺乳類「ブロントセリウム科」の一種です。同じグループの初期の仲間が甑島でも見つかっており、組み立てに合わせて展示に加わりましたので、ぜひご覧ください。

● 甑島の岩石・鉱物に関する学習を行いました

甑島には、堆積岩や火成岩など様々な岩石が分布しています。11月の化石プログラムでは、甑島の岩石のマップを作成しました。11月の中級講座では、鉱物の比重の差を利用して重い鉱物を集める方法「椀掛け（パンニング）」によってジルコンやガーネットなどを収集しました。

● 来館者1万人記念イベントを開催しました

4月のオープン以降、甑ミュージアムでは多数の方にご来館していただき、この度来館者数が1万人に到達し、11月16日に来館者数1万人記念イベントを開催しました（写真2）。

● 日本古生物学会を開催しました

12月5日から薩摩川内市（SSプラザせんだい）にて日本古生物学会が開催され、日本全国の古生物学者が集まって最新の研究成果を発表しました。7日には真鍋真先生による普及講演会も開かれました（写真3）。また、7日からは甑島に渡って博物館の見学や、地層や化石の観察なども実施しました。

● 真鍋先生が名誉館長に就任しました

甑島の恐竜研究に尽力されてきた真鍋真先生が甑ミュージアムの名誉館長に就任し、古生物学会に合わせて委嘱状交付式を行いました。

● 展示物のすすはらいを行いました

12月の化石プログラムでは、恐竜の全身骨格などのすすはらいを行いました（写真4）。



写真1 リノティタンの公開組み立ての様子。組み立てに合わせて他の展示物も加わった。



写真2 1万人目となったのは、本市東大小路町から訪れた吉永さんご家族。



写真3 真鍋真先生による普及講演会「甑島から始める最新恐竜学」の様子。



写真4 脚立を使って恐竜の全身骨格などのすすはらいを行う子どもたち。